

工科系大学生の性格に関する研究

(保健体育理論再履習者の性格)

鎌 田 英 爾

A Study of the Personality about the Students
of KOGAKUIN University.

(The Personality of the students who are taking
the course of physical education again)

Eiji Kamata

〔Ⅰ〕 はじめに

これまでに、Y-G 性格検査やクラブ活動の経験調査等にもとづいて、工科系大学の新入生を中心に様々な角度から研究をすすめてきたが、その中で、保健体育理論の再履習者（2年以上）に関しては、新入生とは異った性格特性が見られるように思われる。そこで本研究では視点を換え、特に再履習者に焦点を合わせて、その性格の特徴や傾向などについて分析を試み、保健体育の指導資料の一つとして役立てようとするものである。

〔Ⅱ〕 調査方法・内容

- 1) 対 象 工学院大学・保健体育理論の再履習者（男子）
- 2) 調査期間 1977年～1988年（1982年をのぞく）
- 3) 調査人数 512 名
- 4) 調査内容
 - a) Yatabe-Guilford Character Test（以下 Y-G と略す）
 - b) 中学・高校・大学時代のクラブ活動状況（クラブ名と経験年数）
- 5) グループینگ
 - a) 運動部経験者のグループینگ

- ① 中学時代のみ運動部で活動（及び中学と大学で運動部を経験している者を含む）
- ② 中学時代運動部，高校時代文化部で活動
- ③ 中学・高校時代に運動部で活動
- ④ 高校・大学又は中学・高校及び大学の運動部で活動中
- ⑤ 高校時代のみ運動部で活動（及び中学・大学で文化部を経験している者を含む）

b) その他のグルーピング

文化部：中学・高校・大学のいずれかで文化部の活動のみを経験

無所属：今迄にクラブに所属して活動したことがない

〔Ⅲ〕 結果の処理

1) Y-G Character Test

本性格検査法は，120項目からなる質問の解答を，12の尺度に分類して粗点を計算し，プロフィールや類型などが数量的に判定できるようになっている。（詳しくは参考文献¹⁾又は²⁾を参照されたい）

2) Y-G 検査プロフィールの五典型³⁾

| 類型 | 名 称 | 因 子 | | |
|-----|------------------------|------------------|---------------------|---------------------|
| | | 情緒安定性 E(DCIN) | 社会適応性 A(O Co Ag) | 積極性(向性) V(GRTAS) |
| A 型 | 平均型 (Average Type) | 平均 | 平均 | 平均 |
| B 型 | 右寄り型 (Black List Type) | 不安定 | 不適応 | 積極(外向) |
| C 型 | 左寄り型 (Calm Type) | 安定 | 適応 | 消極(内向) |
| D 型 | 右下り型 (Director Type) | 安定 | 適応又は平均 | 積極(外向) |
| E 型 | 左下り型 (Eccentric Type) | 不安定 | 不適応又は平均 | 消極(内向) |

3) E. A. V. 3領域における l, c, r, の出現率

12の尺度を3群に分類して夫々を E. A. V. とし，更に各領域を5段階の3点を中心として，左寄りを l 型，右寄りを r 型，中央を c 型とすると27の類型に分けることができる。これをY-Gの五類型に当てはめると，A型は ccc 型，B型は rrr 型，C型は llr 型，D型は llr 又は lcr 型，E型は rrl 又は rcl 型となる。

上記の五類型（A…E）によると，典型の出現率は必ずしも多くなく，40種にも分散している為にその判定は困難である。

又 E. A. V. 3 領域のうち、どの領域にあっても、c の範囲については平均型又は平凡型と呼ばれているように、その特徴はあいまいであるといえる。そこで先の27類型のうちから c 型を除いて、l 型と r 型のみの組合わせによって12のパターン⁴⁾を考えることができる。更にこの12のパターンを l, c, r, の組合せとその性格の傾向から I, II, III, の3つの群に分類した。(12のパターン及び3群の分類は、重複する類型があるので、その合計は、100%にはならない) (第十表)

〔Ⅳ〕 結果と考察(1) Y-G12尺度別比較

- 1) 辻岡の全国平均⁵⁾と本学2～4年生の合計(以下単に合計と略す)との比較では(第一表, 第二表), やや主観的(O)で非活動的(G)ではあるが, 有意差は認められず, その他の10尺度には全て良い性格の方向(D型寄り)に有意差が認められた。
- 2) 学年別比較では(第4図), 4年はやや主観的(O)である他は, 尺度がD型寄りに有意差が認められた。3年は主観的(O)の他に, やや気分の変化が大きく(C), 更に8尺度に有意差があった。又2年は調査数が他の学年より多いこともあって, 合計の結果と殆んど差が見られなかった。
- 3) 本学合計との比較では, 4年はやや非協調的(C)であり, 3年は主観的(O), 気分の変化が小さく(C), D型寄りに有意であった他はまちまちであった。又2年は劣等感が大(I)で有意だった以外は, わずかずつではあるが合計に対してE型寄りの傾向を示している。
- 4) 前回調査(1980年)の1年生との比較では(第2表), 攻撃的でない(Ag)尺度にだけ良い方向の有意差が認められ, 抑うつ性大(D), 主観的(O)の2尺度には反対のE型寄りに有意差が見られた。
- 5) 経験別の比較では(第1図, 第2図), 前回の1年生よりも無・文計では抑うつ性大(D), 非協調的(Co)であり, やや気分の変化が大きいなど, 全体としてE型寄り(情緒不安定・社会的不適応・消極型)の傾向がはっきりと現われており, 運動部計では抑うつ性大(D), 非攻撃的(Ag), 支配的(A)であるなど, 全体的に, わずかではあるがD型寄り(情緒安定・社会的適応・積極型)への傾きが見られた。
- 6) 上下各6尺度による比較では(第五表), 4年は辻岡平均(0.37), 前回1年(2.72)より大きくD型寄り(4.59)であった他は, 前回と今回の間に差は殆んどないが, 今回の結果も又, 辻岡平均よりは明らかにD型寄りであることが分る。
- 7) 更に12の尺度を6グループの因子に分けて性格の結合度を調べてみると(第六表), 辻岡平均との比較では, O, Co, Ag, 因子グループ(社会的不適応)を除いて他は全

て好ましい方向に寄っていることが分る。又合計と学年との比較では、4年は全ての因子グループがD型寄りに傾いており、3年はD、C、I、N、因子グループ（情緒安定性因子）と、O、Co、Ag、因子のグループ以外が、又2年ではO、Co、Ag、因子グループだけが、夫々D型寄りを示したにすぎない。

前回1年との比較では、G、R、因子グループ（衝動性）、R、T、因子グループ（非内省性）の2グループだけがE型寄りを示している。

〔V〕 結果と考察（2） 五類型別比較（第三表、第四表、第3図、第6図）

1) 合計と各学年を、五類型別に比較してみると、4年のD類と3年のB類が多く、4年のA類と3年のC類が少ない他は、大きな差が見られなかった。又典型別では、4年は典型と亜型が多く、3年には準型が多く見られ、その他にはあまり差が見られなかった。

2) 経験別で比較すると、運動部経験者は、①と③のグループ間には殆んど差がなく、②グループにはD類が少ない(27.5%)。又④グループにはD類が多く(54.1%)、E類は少ない(3.5%)。⑤グループはB類が少ない(10.4%)。

運動部以外のグループでは、無所属にはC類が非常に多い(20.5%)。他は、文化部と共にD類が少なく(17.9%, 22.1%)、E類が多い(25.6%, 22.1%)ことが目立っている。又無・文計は運動部計に比較してC類(16.8%, 10.4%)とE類(23.4%, 9.6%)が多く、D類(20.6%, 41.5%)は少ない。

3) 典型別の比較では、⑤(52.6%)の典型と、①(49.5%)、③(46.7%)の準型が多く見られ、他は大差がなかった。

4) 前回調査の1年との比較では、共に大きな差は見られなかった。

〔VI〕 結果と考察（3） E. A. V. 領域における *l, c, r* パターンの出現比較

(第八表、第九表、第5図)

1) 三群の出現率は、合計と同様に学年別でもI、II、III群の順に出現率が減少しているが、その中では4年のI群(120.0%, D型タイプ)の多さと、III群(19.4%, E型タイプ)の少なさがきわ立っている。

2) 経験グループ別では、無所属のIII群(71.8%, E型タイプ)が非常に多く、運動部①のIII群(47.7%)も他のグループより多い。そして④にはIII群(12.9%)が少ないのが目立っている。

又I群の出現が多いのは、運動の④(107.1%)と⑤(89.5%)である。

- 3) 全体として、無所属と文化部はⅢ群に多く、運動部はⅠ群に多いといえるが、運動部の中では①(中学)、②(中学運動部、高校文化部)は、文化部に近い性格特性を持ったグループであることがここでも見られる。
- 4) l, c, r による27類型を、12のパターンに分類したもので比較してみると、全体を通していえることは $l-r$ 型(情緒安定、積極型)が多く(16.0%)、 $r-l$ 型(情緒不安定・社会的適応型)がもっとも少ない(2.3%)。この傾向は学年別に見てもまったく同じである。
- 5) これを経験グループ別に見ると、運動部グループはほぼ同じ傾向を示しているが、無・文計では、かろうじてもっとも多いのは、 $l-r$ 型、少ないのは $r-l$ 型であるが、 $l-r$ 型と同じ位の出現率で $r-l$ 型(情緒不安定、消極型)と $r-r$ 型(情緒不安定、社会的不適応型)が見られる所に大きな違いがある。そして無所属では更に極端になり、もっとも多いのが $r-r$ 型、もっとも少ないのは $rl-l$ 型と $l-r$ 型(情緒安定、社会的不適応型)である。
- 6) 前にも述べたように、辻岡氏の分類によれば、D型としてあげている2類型のうち、 lcr 型(安定・積極型)よりは llr 型(安定・適応・積極型)の方がより好ましい性格と考えられるが、一応この2つの型を合計したものを、もっとも好ましい性格類型と考え、この点から比較してみると、これ迄に述べて来た学年別及び経験グループ別の傾向が更に顕著に出現して来ていることが見られる。即ち学年別では、4年がもっとも好ましい性格類型であり(50.0%)、経験グループ別では、④がもっとも好ましいグループということが出来る(43.5%)。
- 7) 同時にE型としてあげている2類型についても、 rcd 型(不安定・消極型)よりは $rrrl$ 型(不安定・不適応・消極型)の方が更に要注意な類型といえるが、これも一応2つの型を合計したものを要注意型として比較してみると、学年別ではやはり4年が低く(2.8%)、経験グループ別では運動部の④がもっとも少なく(2.4%)、反対にもっとも多いのは無所属であった。

〔Ⅶ〕 他の研究例との比較検討 (第八表)

本研究と類似している研究のいくつかと比較検討した。特に今回は、E. A. V. 領域をもとに、27類型と12のパターンに分類する手法を初めてとりあげたので、この点を中心にして検討を加えた。

- 1) 山田^{43,49}、森脇⁴⁹らによって研究発表された、K大学理工学部の学生(合計791名)について本学と比較してみると、本学生のⅠ群は約20%多くⅢ群は逆に約20%少ない。

又D型タイプでは、*llr*, *lcr* 型が約10%多く、いずれ本学生の方がK大学より好ましい性格の方向に寄っていることが分る。

2) K大学理工学部のうち、本学と同じような学科と思われる、機械、化学、電気、土木(本学では建築)の四学科⁹⁾ をとり出して比較してみると、Ⅲ群が約20%本学の方が少なかったが、その他の項目は殆んど差がなく、ほぼ同質な集団ということが出来る。

3) K大学の運動選手に関するデータ^{6),9),10)} (合計 394 名)についても比較してみた。結果は本学の運動部経験者と比較して、*rr*-型とⅢ群がE型寄りの傾向が見られた他は、ほぼ変らない数値であった。この集団にもっとも近いグループは④であるが、これは明らかに本学の方がD型寄りのタイプであることが分る。

4) 同じ研究の中に、K大学理工学部の第2部(夜間部)学生のデータ^{4),6),8)} についても、参考までに比較してみた。この集団は全体的には、本学の文化部に非常によく類似しており、E型タイプは本学合計とも似ていることが分る。

5) 同じ研究の中に、全国高校陸上競技選手のデータ(210名)¹¹⁾があるので、これも参考までに比較してみた。このグループに近い数字を示しているのは、D型タイプでは、本学の合計と運動部の①、②、⑤及びK大学の四学科であり、E型タイプでは、本学の2年、3年、運動部の③及び運動部計であった。

この高校選手に類似のグループとしては、運動部の③、④、⑤があげられるが、その中で③(中学・高校)が最も近い数値を示していることは、非常に興味深い。

〔Ⅶ〕 まとめ

1) 辻岡平均と比較した結果は、学年別では12の尺度別、上下6尺度の差、6つの因子グループの夫々において、3年生の主観的(O)を含んだ、社会的不適応傾向(O, Co, Ag,)を除けば、他はいずれの学年もD型寄り(情緒安定・社会的適応・積極的)に傾いているとみることができる。

中でも、非内省性因子(R, T,)と主導性因子(A, S,)が大きくD型寄りを示している。又情緒安定性因子(D, C, I, N,)のまとまりは、重要な因子の一つであるが、この因子もD型寄りの好ましい方向にまとまりをみせている。

全体として、3年生にのみ社会的不適応傾向が見られるものの、それ以外については、はじめに立てた仮説とは異なり、はるかにD型寄りの割合が高い。

2) 経験別の全体的傾向としては、無所属(無・文計も同じ)にはE類(情緒不安定・社会的不適応・消極的)が多く見られる。運動部グループでは、D類(情緒安定・社会的適応・積極的)が多く見られた。

3) 典型別では、一部に50%を越すグループが見られたものの、総じて典型・準型・亜型の間に大きな特徴が見られず、典型の占める比率は、無・文計で30.8%、運動部計で28.1%、合計で28.5%といずれも1/3以下であり、これをもって12尺度の傾向を現すことは不十分ではないかと思われる。

4) 今回初めて試みた、E・A・V領域の*l, c, r*による27類型においても、各領域の中に*c*型が含まれることで、性格づけがはっきりしなくなる類型もあるが、個人個人のプロフィールを濃縮したものとして利用することができよう。

更にこの27類型について*c*型を除き、12のパターンにまとめて検討することは、性格の傾向を集団として把握でき、理解しやすい方法といえよう。

加えてこの12のパターンを3群に分類する方法も加えていけば、E(情緒安定)、A(社会的適応)、V(積極性)の有無について、かなりくわしい分析ができるのではないかと考える。

6) 前回の研究^{2),12)}でもふれたが、経験調査の内容は、主として過去の調査であるために、明らかに運動部的性格を持っていると思われるのは、④(高大又は中高大)であるが、①(中学)は無所属や文化部に近いグループということができよう。このことについては、最も注意を要する性格として、*rrl*型について調べてみると、①が10.8%でもっとも高く、④は2.4%でもっとも低い数字であることにも、はっきりと現われている。

7) スポーツマンが、積極的で外向的な傾向を持っていることは、半ば当然のことであり、これがないとスポーツ活動ができないともいえるが、スポーツの種目やポジションによっては、以外に逆の性格を示すことも又事実であり、このことをY-G Character test だけで判断することはできない。

8) 以上のようなことから、本学の2、3、4年生(実は保健体育理論の再履習者であるのだが)は、辻岡平均及びK大学生に比較して、性格的にはD型寄りであることがうかがえた。Y-G Character test の結果のみで、学生の性格像を断定することはできないが、しかし心理学的考察と手続きによって標準化された「性格テスト」であることから、以上の結果が学生の性格の一面を現わしていることも又事実であり、この中から指導の為の手掛りをつかみ、更には個人のプロフィールにひそんでいる問題を探っていくことができるのではないかと考える。

9) 前回の研究^{2),12)}によれば1年生と、2年生以上の再履習者との間には、若干の性格的相異が見られたので、もっと暗い結果を予想していたのだが、初めに立てた仮説とは異なり、無所属と文化部経験者を除けば殆んど変らないか、又はD型寄りの良い

傾向が示されたのは意外であると共に安心したといえる。

しかしスポーツの持つ特性が、良い影響を与えたのかどうかについては、簡単に結論づける訳にはいかず、今後更に分析をし、年次的変化や、個別検討も加えていく必要がある。

10) 調査数をまとめるために、経験調査のグルーピングについては、前回と同じものを使用したがり、更に明確なグルーピングを検討する必要がある。又、辻岡の全国平均及び大学などとの比較で、本学はかなり良い性格傾向を示しているが、この結果もどこに原因があるのか、今一度検討してみることも必要であろう。

第一表 経験別、学年別 Y-G 尺度

| | 2 年 | | | 3 年 | | | 4 年 | | | 2・3・4年 | | 岡 均 辻 平 |
|-----|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--|---------------|
| | 無・文 小計 | 運動部 小計 | 計 | 無・文 小計 | 運動部 小計 | 計 | 無・文 小計 | 運動部 小計 | 計 | 合計 | | |
| D | 11.01 5.69 | 9.03 5.77 | 9.44 5.82 | 12.33 6.63 | 9.49 5.61 | 10.02 5.88 | 6.00 4.32 | 8.72 6.75 | 8.19 6.39 | 9.46 5.87 | | 11.23 5.51 |
| C | 9.30 4.62 | 8.82 4.72 | 8.89 4.71 | 12.50 5.23 | 9.58 4.77 | 10.11 4.99 | 6.86 3.29 | 7.76 4.78 | 7.58 4.50 | 9.03 4.78 | | 9.98 4.99 |
| I | 8.80 5.36 | 7.91 5.08 | 8.03 5.10 | 9.22 5.54 | 7.31 4.79 | 7.67 4.96 | 7.43 4.89 | 5.69 4.11 | 6.03 4.25 | 7.82 5.04 | | 8.97 5.52 |
| N | 10.30 5.04 | 9.01 5.15 | 9.31 5.15 | 12.11 4.73 | 8.65 5.02 | 9.30 5.12 | 9.29 4.07 | 7.07 4.69 | 7.50 4.61 | 9.18 5.12 | | 9.72 5.35 |
| O | 9.18 4.53 | 7.88 4.46 | 8.17 4.49 | 11.78 3.99 | 8.41 4.33 | 9.04 4.45 | 4.57 3.31 | 7.97 5.09 | 7.31 4.94 | 8.27 4.53 | | 8.11 4.38 |
| Co | 8.67 3.99 | 7.12 4.01 | 7.45 4.06 | 9.06 4.22 | 7.59 4.00 | 7.86 4.06 | 9.57 2.23 | 7.10 4.62 | 7.58 4.35 | 7.54 4.08 | | 8.34 4.06 |
| Ag | 10.88 3.74 | 11.43 3.99 | 11.32 3.95 | 11.83 3.97 | 11.99 4.15 | 11.96 4.10 | 11.00 4.86 | 12.10 3.71 | 11.89 3.90 | 11.48 3.97 | | 10.87 4.25 |
| G | 9.39 4.70 | 10.75 4.47 | 10.46 4.53 | 9.67 5.01 | 11.65 4.72 | 11.28 4.81 | 11.86 6.79 | 12.59 4.56 | 12.44 4.97 | 10.76 4.66 | | 10.85 5.16 |
| R | 10.52 3.95 | 12.01 4.24 | 11.68 4.23 | 12.61 4.96 | 12.86 3.97 | 12.81 4.15 | 9.86 4.88 | 13.14 4.69 | 12.50 4.84 | 11.95 4.28 | | 9.96 4.85 |
| T | 8.94 4.25 | 10.19 4.56 | 9.95 4.51 | 9.22 4.71 | 10.06 4.08 | 9.91 4.19 | 10.00 2.77 | 10.93 4.57 | 10.75 4.27 | 9.99 4.43 | | 8.16 4.62 |
| A | 7.72 4.53 | 10.25 4.88 | 9.72 4.89 | 9.06 5.41 | 11.04 4.55 | 10.67 4.75 | 6.14 3.24 | 11.34 4.27 | 10.33 4.55 | 9.94 4.87 | | 8.52 5.53 |
| S | 10.06 5.16 | 12.91 5.15 | 12.33 5.30 | 11.83 5.88 | 13.45 4.76 | 13.15 5.00 | 9.86 5.37 | 14.76 4.49 | 13.81 5.00 | 12.59 5.23 | | 10.23 5.48 |
| (N) | 82 | 298 | 380 | 18 | 78 | 96 | 7 | 29 | 36 | 512 | | 4.136 |

第二表 Y-G 尺度のグループ間差と検定

| | 辻岡平均との比較 (N=4, 136) | | | | 2~4年計との比較 (N=512) | | | | 前回経験別との比較 | |
|-----|---------------------|-------------|---------------|--------------|-------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | 2年 | 3年 | 4年 | 合計 | 2年 | 3年 | 4年 | 1年(前回) | 無・文計 | 運計 |
| D | -1.79 ××× | -1.21 × | -3.04 ×× | -1.77 ××× | -0.02 | 0.56 | -1.27 | 0.87 ×⊖ | 1.61 × | 0.72 (10%)⊖ |
| C | -1.09 ××× | 0.13 | -2.40 ×× | -0.95 ××× | -0.14 | 1.08 × | -1.45 (10%) | 0.54 (10%)⊖ | 1.03 (10%)⊖ | 0.46 |
| I | -0.94 ××× | -1.30 × | -2.94 ×× | -1.15 ××× | 0.21 ×⊖ | -0.15 | -1.79 × | -0.05 | 0.07 | 0.03 |
| N | -0.41 | -0.42 | -2.22 × | -0.54 × | 0.13 | 0.12 | -1.68 (10%) | 0.14 | 0.41 | 0.12 |
| O | 0.06 | 0.93 ×⊖ | -0.80 | 0.16 | -0.10 | 0.77 (10%)⊖ | -0.96 | 0.48 (10%)⊖ | 0.88 | 0.34 |
| Co | -0.89 ××× | -0.48 | -0.76 | -0.80 ××× | -0.09 | 0.32 | 0.04 | 0.24 | 1.37 ×× | -0.04 |
| Ag | 0.45 × | 1.09 × | 1.02 | 0.61 ×× | -0.16 | 0.48 | 0.41 | 0.87 ××× | 1.09 | 0.74 ×× |
| G | -0.39 | 0.43 | 1.59 (10%) | -0.09 | -0.30 | 0.52 | 1.68 × | -0.37 | -0.21 | -0.47 |
| R | 1.72 ××× | 2.85 ××× | 2.54 ×× | 1.99 ××× | -0.27 | 0.86 (10%) | 0.55 | 0.29 | -0.18 | 0.38 |
| T | 1.79 ××× | 1.75 ××× | 2.59 ×× | 1.83 ××× | -0.04 | -0.08 | 0.76 | -0.14 | -0.78 | 0.02 |
| A | 1.20 ××× | 2.15 ××× | 1.81 (10%) | 1.42 ××× | -0.22 | 0.74 | 0.39 | 0.53 (10%) | -0.71 | 0.78 ××× |
| S | 2.10 × | 2.92 ××× | 3.58 ××× | 2.36 ××× | -0.26 | 0.56 | 1.22 | 0.13 | -0.82 | 0.26 |
| (N) | 380 | 96 | 36 | 512 | 380 | 96 | 36 | 562 | 137/107 | 425/405 |

⊖はE型寄りを示す

× 5 %
× 1 %
× 0.1 %

第 三 表

| | 無 所 属 | | | 文 化 部 | | | 無・文 計 | | | 運 動 部 | | | | | | | | | | | | 運 動 部 計 | | |
|-----|-------|------|------|-------|------|------|-------|------|------|-------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|---------|------|------|
| | 頻 数 | | % | 頻 数 | | % | 頻 数 | | % | 頻 数 | | % | 頻 数 | | % | 頻 数 | | % | 頻 数 | | % | 頻 数 | | % |
| | 頻 数 | % | | 頻 数 | % | | 頻 数 | % | | 頻 数 | % | | 頻 数 | % | | 頻 数 | % | | 頻 数 | % | | 頻 数 | % | |
| A | 2 | 5.1 | 8 | 4 | 5.9 | 14 | 6 | 5.6 | 22 | 2 | 1.8 | 22 | 2 | 5.0 | 10 | 4 | 2.7 | 31 | 3 | 3.5 | 18 | 3 | 15.8 | 5 |
| A' | 2 | 5.1 | | 4 | 5.9 | | 6 | 5.6 | | 6 | 5.4 | | 11 | 7.3 | | 11 | 7.3 | | 6 | 7.1 | | 0 | 0 | |
| A'' | 4 | 10.3 | 20.5 | 6 | 8.8 | 20.6 | 10 | 9.3 | 20.6 | 14 | 12.6 | 19.8 | 7 | 17.5 | 25.0 | 16 | 10.7 | 20.7 | 9 | 10.6 | 21.2 | 2 | 10.5 | 26.3 |
| B | 2 | 5.1 | 5 | 3 | 4.4 | 12 | 5 | 4.7 | 17 | 5 | 4.5 | 18 | 1 | 2.5 | 9 | 7 | 4.7 | 29 | 3 | 3.5 | 12 | 1 | 5.3 | 2 |
| B' | 2 | 5.1 | | 5 | 7.4 | | 7 | 6.5 | | 8 | 7.2 | | 5 | 12.5 | | 19 | 12.7 | | 6 | 7.1 | | 0 | 0 | |
| AB | 1 | 2.6 | 12.8 | 4 | 5.9 | 17.6 | 5 | 4.7 | 15.9 | 5 | 4.5 | 16.2 | 3 | 7.5 | 22.5 | 3 | 2.0 | 19.3 | 3 | 3.5 | 14.1 | 1 | 5.3 | 10.5 |
| C | 2 | 5.1 | 8 | 5 | 7.4 | 10 | 7 | 6.5 | 18 | 5 | 4.5 | 14 | 1 | 2.5 | 6 | 5 | 3.3 | 14 | 3 | 3.5 | 6 | 2 | 10.5 | 2 |
| C' | 2 | 5.1 | | 3 | 4.4 | | 5 | 4.7 | | 4 | 3.6 | | 2 | 5.0 | | 4 | 2.7 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | |
| AC | 4 | 10.3 | 20.5 | 2 | 2.9 | 14.7 | 6 | 5.6 | 16.8 | 5 | 4.5 | 12.6 | 3 | 7.5 | 15.0 | 5 | 3.3 | 9.3 | 3 | 3.5 | 7.1 | 0 | 0 | 10.5 |
| D | 1 | 2.6 | 7 | 3 | 4.4 | 15 | 4 | 3.7 | 22 | 9 | 8.1 | 41 | 4 | 10.0 | 11 | 20 | 13.3 | 63 | 21 | 24.7 | 46 | 3 | 15.8 | 7 |
| D' | 5 | 12.8 | | 8 | 11.8 | | 13 | 12.1 | | 26 | 23.4 | | 5 | 12.5 | | 31 | 20.7 | | 20 | 23.5 | | 3 | 15.8 | |
| AD | 1 | 2.6 | 17.9 | 4 | 5.9 | 22.1 | 5 | 4.7 | 20.6 | 6 | 5.4 | 36.9 | 2 | 5.0 | 27.5 | 12 | 8.0 | 42.0 | 5 | 5.9 | 54.1 | 1 | 5.3 | 36.8 |
| E | 5 | 12.8 | 10 | 6 | 8.8 | 15 | 11 | 10.3 | 25 | 2 | 1.8 | 16 | 1 | 2.5 | 4 | 4 | 2.7 | 13 | 2 | 2.4 | 3 | 1 | 5.3 | 3 |
| E' | 4 | 10.3 | | 8 | 11.8 | | 12 | 11.2 | | 11 | 9.9 | | 1 | 2.5 | | 5 | 3.3 | | 1 | 1.2 | | 1 | 5.3 | |
| AE | 1 | 2.6 | 25.6 | 1 | 1.5 | 22.1 | 2 | 1.9 | 23.4 | 3 | 2.7 | 14.4 | 2 | 5.0 | 10.0 | 4 | 2.7 | 8.7 | 0 | 3.5 | | 1 | 5.3 | 15.8 |
| F | 1 | 2.6 | 1 | 2 | 2.9 | 2 | 3 | 2.8 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 2.6 | | 2.9 | 2.9 | | | 2.8 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 典 型 | 12 | 30.8 | | 21 | 30.9 | | 33 | 30.8 | | 23 | 20.7 | 9 | 22.5 | 40 | 26.7 | 32 | 37.6 | 10 | 52.6 | 114 | 28.1 | | | |
| 準 型 | 15 | 38.5 | | 28 | 41.2 | | 43 | 40.2 | | 55 | 49.5 | 14 | 35.0 | 70 | 46.7 | 33 | 38.8 | 4 | 21.1 | 176 | 43.5 | | | |
| 型 | 11 | 28.2 | | 17 | 25.0 | | 28 | 26.2 | | 33 | 29.7 | 17 | 42.5 | 40 | 26.7 | 20 | 23.5 | 5 | 26.3 | 115 | 28.4 | | | |
| その他 | 1 | 2.6 | | 2 | 2.9 | | 3 | 2.8 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| (N) | 39 | | | 68 | | | 107 | | | 111 | | 40 | 150 | 85 | 19 | 405 | | | | | | | | |

第五表 Y-G尺度の上6尺度と下6尺度の差と平均

| | 2年 | 3年 | 4年 | 合計 | 辻岡 | 前回1年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| 上下差 | 18.38 | 15.78 | 27.53 | 15.41 | 2.24 | 16.32 |
| 平均 | 3.06 | 2.63 | 4.59 | 2.57 | 0.37 | 2.72 |

第六表 Y-G尺度因子グループ別得点(平均)

| | 2年 | 3年 | 4年 | 合計 | 辻岡 | 前回1年 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| D・C・I・N | 8.92 | 9.28 | 7.33 | 8.89 | 9.98 | 8.50 |
| O・Co・Ag | 8.98 | 9.62 | 8.93 | 9.10 | 9.11 | 9.57 |
| Ag・G | 10.89 | 11.62 | 12.17 | 11.12 | 10.86 | 10.87 |
| G・R | 11.07 | 12.05 | 12.47 | 11.36 | 10.41 | 11.40 |
| R・T | 10.82 | 11.36 | 11.63 | 10.97 | 9.06 | 10.90 |
| A・S | 11.03 | 11.91 | 12.07 | 11.27 | 9.38 | 10.94 |

第七表 調査数(学年, 経験グループ別)

| | 無所属 | 文化 部 | 無文 計 | 運 動 部 | | | | | 合 計 |
|----|-----|---------|---------|-------|----|-----|----|----|--------|
| | | | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | |
| 2年 | 34 | 48 | 82 | 88 | 32 | 112 | 52 | 14 | 380 |
| 3年 | 3 | 15 | 18 | 18 | 4 | 29 | 25 | 2 | 96 |
| 4年 | 2 | 5 | 7 | 5 | 4 | 9 | 8 | 3 | 36 |
| 合計 | 39 | 68 | 107 | 111 | 40 | 150 | 85 | 19 | 512 |

第四表 学年別類型の出現率

| 類 型 | 2 年 計 | | 3 年 計 | | 4 年 計 | | 2・3・4年 合 計 | |
|----------------|--------|-----------------|--------|-----------------|--------|--------------|---------------|-----------------|
| | 頻 数 | % 小計 | 頻 数 | % 小計 | 頻 数 | % 小計 | 頻 数 | % 小計 |
| A A' A'' | 14 | 3.7 86 | 5 | 5.2 19 | 1 | 2.8 3 | 20 | 3.9 108 |
| | 25 | 6.6 | 5 | 5.2 | 0 | 0 | 30 | 5.9 |
| | 47 | 12.4 | 9 | 9.4 19.8 | 2 | 5.6 8.3 | 58 | 11.3 21.1 |
| B B' AB | 12 | 3.2 57 | 6 | 6.2 25 | 3 | 8.3 5 | 21 | 4.1 87 |
| | 29 | 7.6 | 16 | 16.7 | 1 | 2.8 | 46 | 9.0 |
| | 16 | 4.2 | 3 | 3.1 26.0 | 1 | 2.8 13.9 | 20 | 3.9 17.0 |
| C C' AC | 16 | 4.2 47 | 5 | 5.2 8 | 2 | 5.6 5 | 23 | 4.5 60 |
| | 11 | 2.9 | 3 | 3.1 | 1 | 2.8 | 15 | 2.9 |
| | 20 | 5.3 | 0 | 0 8.3 | 2 | 5.6 13.9 | 22 | 4.3 11.7 |
| D D' AD | 42 | 11.1 135 | 12 | 12.5 35 | 7 | 19.4 20 | 61 | 11.9 190 |
| | 72 | 18.9 | 18 | 18.7 | 8 | 22.2 | 98 | 19.1 |
| | 21 | 5.5 | 5 | 5.2 36.5 | 5 | 13.9 55.6 | 31 | 6.1 37.1 |
| E E' AE | 20 | 5.3 53 | 1 | 1.0 8 | 0 | 0 3 | 21 | 4.1 64 |
| | 24 | 6.3 | 7 | 7.3 | 0 | 0 | 31 | 6.1 |
| | 9 | 2.4 | 0 | 0 8.3 | 3 | 8.3 8.3 | 12 | 2.3 12.5 |
| F | 2 | 0.5 2 0.5 | 1 | 1.0 1 1.0 | 0 | 0 0 | 3 | 0.6 3 0.6 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | 頻 数 | % | 頻 数 | % | 頻 数 | % | 頻 数 | % |
| 型 | 104 | 27.4 | 29 | 30.2 | 13 | 36.1 | 146 | 28.5 |
| 標準型 | 161 | 42.4 | 49 | 51.0 | 10 | 27.8 | 220 | 43.0 |
| 亜型 | 113 | 29.7 | 17 | 17.7 | 13 | 36.1 | 143 | 27.9 |
| その他 | 2 | 0.5 | 1 | 1.0 | 0 | 0 | 3 | 0.6 |
| (N) | 380 | | 96 | | 36 | | 512 | |

第八表 l, c, r, によるDタイプ, Eタイプの出現率

| | 調 査 数 | D 型 タイ プ | | | | E 型 タイ プ | | | | 調 査 数 | | D 型 タイ プ | | | | E 型 タイ プ | | | |
|------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-----|------------|-------------|-----------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|-------------|--|--|
| | | llr lcr | ll- | I 群 | rrl rcl | rr- | rrl rcl | I 群 | rrl rcl | | | llr lcr | ll- | I 群 | rrl rcl | rr- | rrl rcl | | |
| 本 学・合 計 (N) (%) | 512 | 164 32.0 | 121 23.6 | 406 79.4 | 52 10.5 | 83 16.2 | 181 22.6 | | | 39 | 本 学・無 所 属 | 5 12.8 | 4 10.3 | 16 41.0 | 8 20.5 | 12 30.8 | 28 71.8 | | |
| “ 2 年生 | 380 | 115 30.3 | 89 23.4 | 291 76.6 | 42 11.2 | 61 16.1 | 138 36.3 | | | 68 | “ 文 化 部 | 15 22.1 | 11 16.2 | 37 54.4 | 11 16.2 | 12 17.6 | 29 42.6 | | |
| “ 3 年生 | 96 | 31 32.3 | 19 19.8 | 72 75.0 | 9 9.4 | 18 18.8 | 36 37.5 | | | 107 | “ 無・文 計 | 20 18.7 | 15 14.0 | 53 49.5 | 19 17.8 | 24 22.4 | 57 53.3 | | |
| “ 4 年生 | 36 | 18 50.0 | 13 36.1 | 43 120.0 | 1 2.8 | 4 11.1 | 7 19.4 | | | 111 | “ 運 動 部 ① | 38 34.2 | 29 26.1 | 90 81.1 | 16 14.4 | 20 18.0 | 53 47.7 | | |
| K 大 学 理 工 学 部 一 部 学 生 | 791 | 180 22.8 | 183 23.1 | 451 57.0 | 96 12.1 | 154 19.5 | 339 42.9 | | | 40 | “ “ ② | 10 25.0 | 9 22.5 | 26 65.0 | 2 5.0 | 6 15.0 | 11 27.5 | | |
| 同 上 学 生 の う ち 機・化・電・土 木 科 | 200 | 48 24.0 | 55 27.5 | 155 77.5 | 23 11.5 | 43 21.5 | 89 44.5 | | | 150 | “ “ ③ | 54 36.0 | 38 25.3 | 129 86.0 | 11 7.3 | 24 16.0 | 43 28.7 | | |
| K 大 学 理 工 学 部 二 部 学 生 | 332 | 75 22.6 | 55 16.6 | 103 31.0 | 38 11.4 | 62 18.7 | 127 38.3 | | | 85 | “ “ ④ | 37 43.5 | 24 28.2 | 91 107.1 | 2 2.4 | 7 8.2 | 11 12.9 | | |
| K 大 学 理 工 学 部 運 動 部 選 手 | 394 | 113 28.7 | 97 24.6 | 311 78.9 | 31 7.9 | 92 23.3 | 152 38.6 | | | 19 | “ “ ⑤ | 5 26.3 | 6 31.6 | 17 89.5 | 2 10.5 | 2 10.5 | 6 31.6 | | |
| 全 国 高 校 陸 上 競 技 部 選 手 | 210 | 50 23.8 | 47 22.4 | 141 67.1 | 17 8.1 | 33 15.7 | 65 31.0 | | | 405 | “ 運 動 部 計 | 144 35.6 | 106 26.2 | 353 87.2 | 33 8.1 | 59 14.6 | 124 30.6 | | |

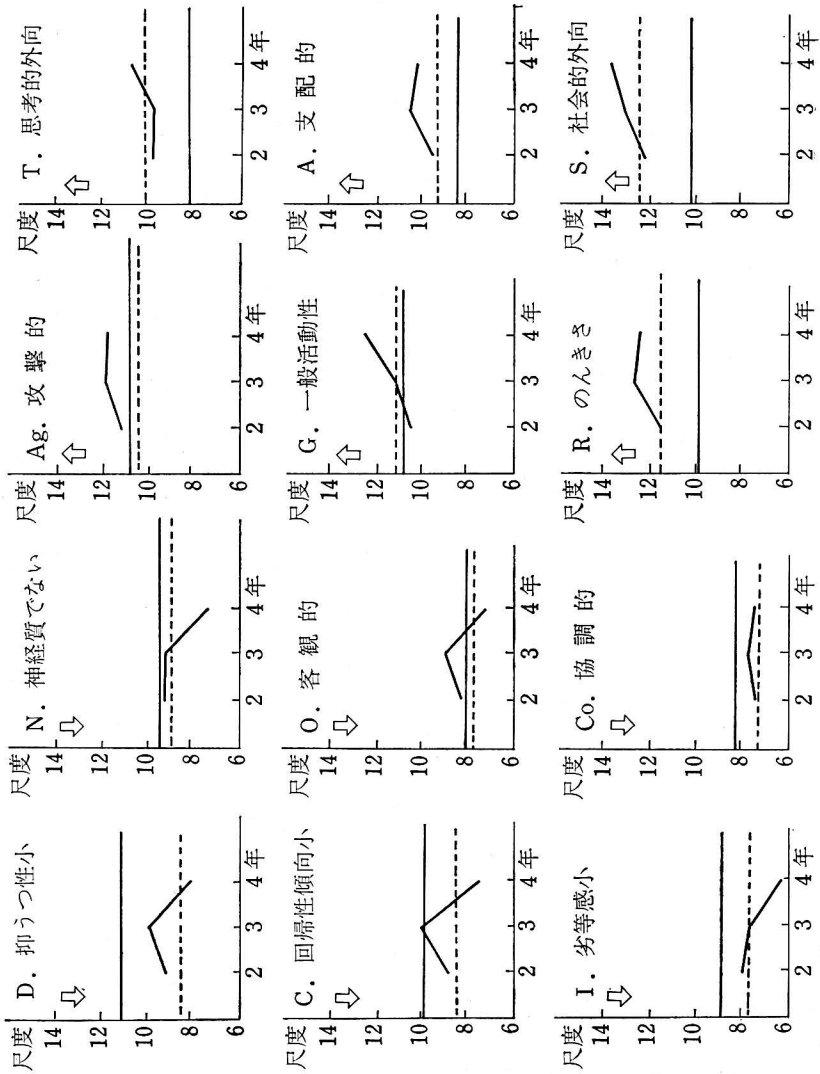
第九表 経験別 I, C, r, による12パターンの出現率

| | 無 所 属 | 文 化 部 | 無・文・計 | 運 働 部 | | | | | 運動部計 | 合 計 | | | | | | | | | | | |
|-----|---------------------------------|-------|-------|-------|------|-----|-------|-----|------|-----|------|-----|------|----|-------|----|------|-----|-------|-----|-------|
| | | | | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | ② | | ③ | ④ | | | | ⑤ | | | | | | | | | | |
| Ⅰ 群 | 11- 1-r -1r | 4 | 16 | 11 | 37 | 15 | 53 | 29 | 90 | 9 | 26 | 38 | 129 | 24 | 91 | 6 | 17 | 106 | 353 | 121 | 406 |
| | | 7 | | 19 | | 26 | 56 | | 40 | 10 | | 56 | | 45 | | | 5 | 156 | | 182 | |
| | | 5 | 41.0 | 7 | 54.4 | 12 | 49.5% | 21 | 81.1 | 7 | 65.0 | 35 | 86.0 | 22 | 107.1 | 6 | 89.5 | 91 | 87.2% | 103 | 79.4% |
| Ⅱ 群 | 1-1 -11 1r- rr- r-r | 5 | | 3 | | 8 | | 6 | | 3 | | 6 | | 3 | | 0 | | 18 | | 26 | |
| | | 2 | 18 | 6 | 29 | 8 | 47 | 4 | 38 | 5 | 19 | 7 | 61 | 4 | 9 | 41 | 2 | 7 | 26 | 34 | 213 |
| | | 1 | | 5 | | 6 | | 5 | | 0 | | 4 | | 1 | | | 0 | | 17 | 23 | |
| Ⅱ 群 | 1r- rr- r-r | 1 | | 1 | | 2 | 43.9% | 5 | 34.2 | 1 | 47.5 | 2 | 40.7 | 1 | 48.2 | 1 | 36.8 | 10 | 41.0% | 12 | 41.6% |
| | | 4 | 46.2 | 10 | 42.6 | 14 | | 8 | 8 | 5 | 24 | 17 | 17 | 2 | | | 2 | 56 | 56 | 70 | |
| | | 5 | | 4 | | 9 | | 7 | | 5 | 18 | 7 | | 2 | | | 2 | 39 | 39 | 48 | |
| Ⅱ 群 | -r1 r-1 rr- | 8 | 28 | 5 | 29 | 13 | 57 | 14 | 53 | 2 | 11 | 7 | 43 | 2 | 11 | 1 | 6 | 26 | 124 | 39 | 181 |
| | | 8 | | 12 | | 20 | | 19 | | 3 | | 12 | | 2 | | | 3 | 39 | | 59 | |
| | | 12 | 71.8 | 12 | 42.6 | 24 | 53.3% | 20 | 47.7 | 6 | 27.5 | 24 | 28.7 | 7 | 12.9 | 2 | 31.6 | 59 | 30.6% | 83 | 22.6% |
| (N) | | 39 | 68 | 107 | | 111 | 40 | 150 | 85 | 19 | 405 | 512 | | | | | | | | | |

第十表 E. A. V. 3 領域による12のパターン

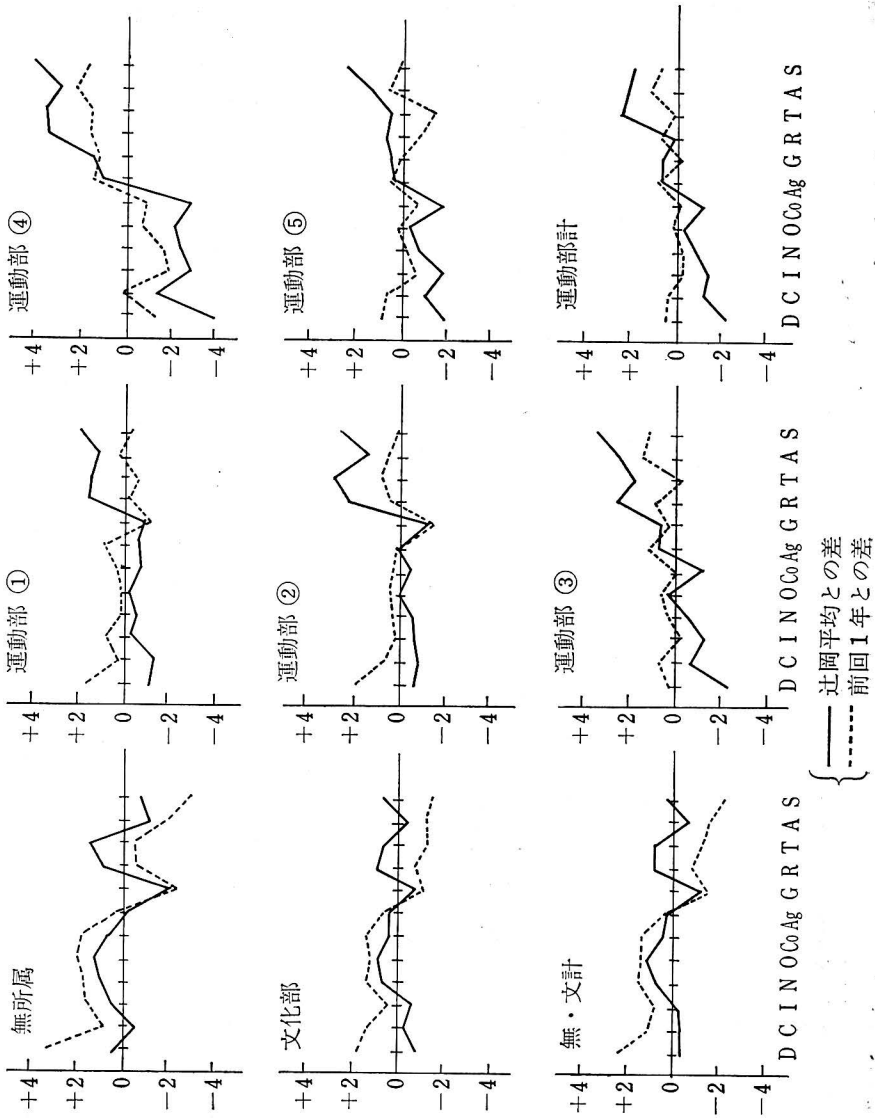
| 群 | パターン | E 領域 | A 領域 | V 領域 |
|----|--|--------------------------------|----------------------------------|--------------------------|
| I | 11- 1-r -1r | 情緒安定 情緒安定 | 社会的適応 社会的適応 | 積極的 積極的 |
| II | 1-1 -11 1-r r1- -rr r-r | 情緒安定 情緒安定 情緒不安定 情緒不安定 | 社会的適応 社会的適応 社会的適応 社会的適応 | 積極的 積極的 積極的 積極的 |
| | -r1 r-1 rr- | 情緒不安定 情緒不安定 | 社会的適応 社会的適応 | 積極的 積極的 |

第1図 経験グループ別Y-G反応別比較

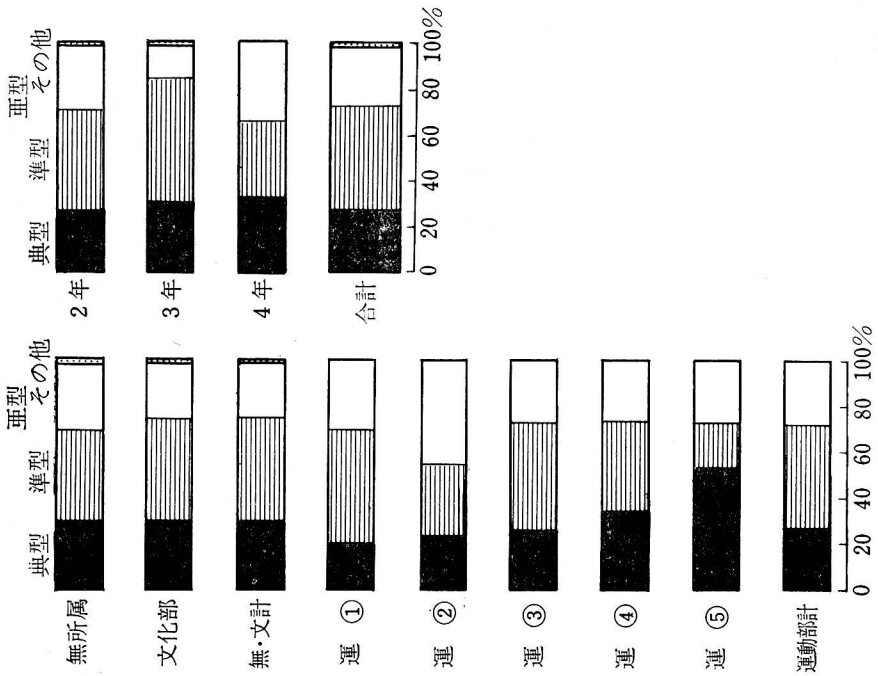


{ ——— 辻岡平均
 本学1年平均(前回) ※矢印はD型寄りの方向を示す。

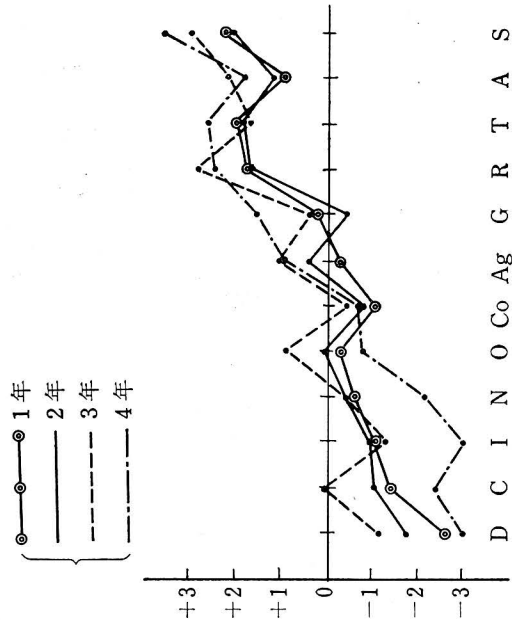
第2図 経験グループ別プロフィール



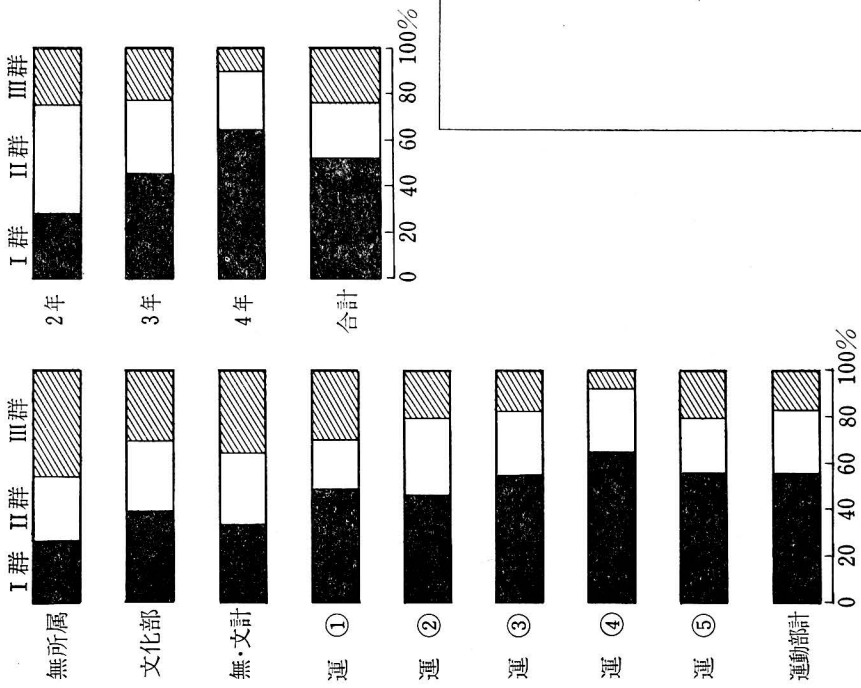
第3図 Y-G類型 (典型) 出現率



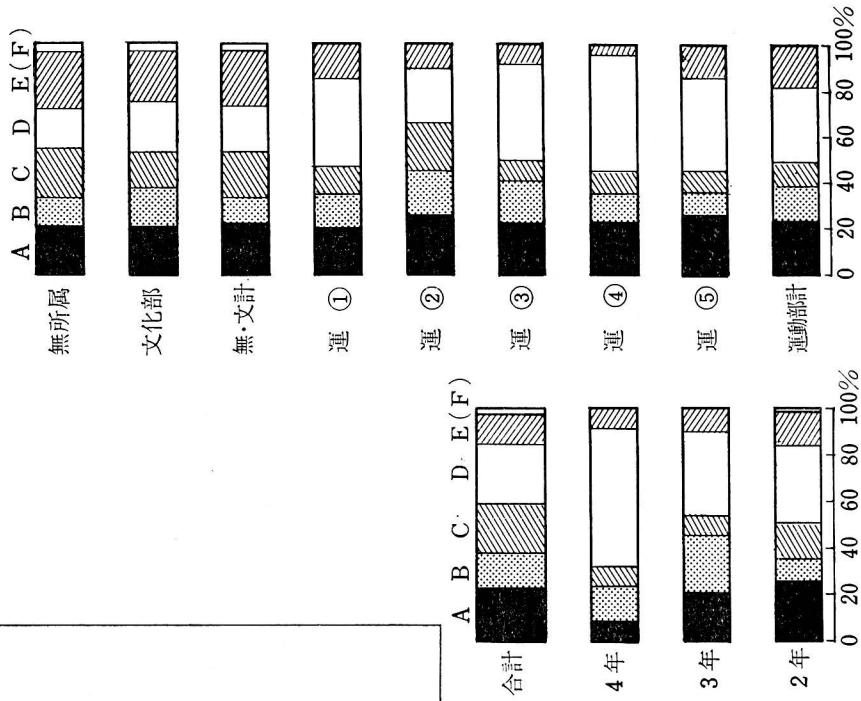
第4図 辻岡平均との差 (プロフィール)



第5図 ℓ, c, r , 三群の出現率



第6図 Y-G五類型の出現率



参考文献・引用文献

- 1) 辻岡美延「新性格検査法」(Y-G性格検査実施・応用・研究手引) 日本心理テスト研究所 1982年
- 2) 鎌田英爾「性格と身体活動への興味に関する研究(本学々生について)」工学院大学研究論叢第18号, 1980年 p. 33~p. 76
- 3) 前掲 1) p. 21
- 4) 山田久喜「矢田部・ギルフォード性格検査による1・2部学生の性格特性の比較(1)」近畿大学職業科学研究紀要 No. 3 1962年 p. 37~p. 44
- 5) 前掲 1) p. 258~p. 262
- 6) 森脇 勤「Yatabe-Guilford 性格検査による27類型出現傾向より見た本学一般学生及び運動部選手の性格 Pattern について」大阪体育学研究 No. 2. 1964年p. 54~p. 62
- 7) 森脇 勤「Yatabe-Guilford 性格検査による1964年 All Japan Interhigh School Athletic meet 出場選手の性格特性」近畿大学 1964年. p. 1~p. 7
- 8) 山田久喜「理工学部学生に課した矢田部ギルフォード性格検査の結果について(3)」近畿大学芸文第5巻1号1964年. p. 1~p. 19.
- 9) 森脇勤他「Yatabe-Guilford 性格検査及び淡路岡部式向性検査を用いた本学運動部選手の向性傾向について」近畿大学 1965年 p. 1~p. 9.
- 10) 森脇勤他「Yatabe-Guilford Character Test による本学運動選手の性格傾向について」近畿大学 1979年 p. 1~p. 9
- 11) 森脇 勤「Sports における Personality をめぐる問題 (Sports man の Character Pattern を中心として)」近畿大学 1979年 p. 1~p. 17
- 12) 鎌田英爾「工学院大学新入生の Yatabe-Guilford 性格検査法による性格」工学院大学研究論叢第6号 1967年 p. 83~p. 120
- 13) 花田・竹村・藤善「スポーツマン的性格」不味堂 1968年。

(かまた えいじ 本学教授 保健体育)